

第30回地盤震動シンポジウム(2002)

設計用地震動は、工学的基盤で決められるか？
—地盤震動研究を耐震設計に如何に活かすか(その1)—

目 次

午前の部 (司会：源栄正人、高井伸雄)

- 09:30 1. 主旨説明 萩尾堅治
2. 現状と課題のレビュー
- 09:50 2. 1 改正建築基準法に至る地震外力の考え方
—設計適用の観点から見た現状と課題— 加藤研一
- 10:30 2. 2 地盤増幅特性の評価—研究成果から見た現状と課題 川瀬博・佐藤智美
- 11:10 2. 3 工学的基盤での入力地震動評価のための深部地盤構造の探査 山中浩明

午後の部 (司会：前田寿郎、芝良昭)

- 13:00 3. 特別講演
地震動予測に地下深部構造はなぜ必要か? 瀬尾和大
4. 具体例で考える
- 14:00 4. 1 免震病院を対象とした入力地震動の策定例
—震源近傍の強震動、及び、深部地盤構造を考慮した入力地震動策定—
久田嘉章、翠川三郎、山中浩明、鱒沢 曜
- 14:30 4. 2 名古屋市における強震動予測事例
—濃尾平野の3次元堆積盆地モデルの作成と適用— 早川 崇
- 15:00 休 憩
- 15:10 4. 3 過去の地震の被害事例からみた地盤増幅の影響
—1923年関東地震による東京での地震動の特徴— 武村雅之
- 15:40 4. 4 構造物応答から見た設計用地震動の決め方 境 有紀
- 16:10 5. 総合討論 (司会：小林喜久二、野畑有秀)
- 17:00 6. まとめ 山田 真

閉会后 (17:30懇親会)